2021年7月1日
年報

No.29

和＆輪

編集発行　(公財)松戸市国際交流協会
〒271-0073　松戸市小根本7-8
京葉ガスF松戸第2ビル5階
☎047-366-7310　Fax 047-308-6789
URL : https://www.miea.or.jp/
E-mail office@miea.or.jp

～はじめに～

松戸市とオーストラリア　ホワイトホース市は令和３年５月１２日に姉妹都市提携５０周年を迎えました。

これに先立ち、４月２６日、松戸市立第五中学校で記念植樹式が行われました。

また、記念日の５月１２日には、本郷谷 健次松戸市長とアンドリュー・モンローホワイトホース市長のオンライン会談が行われました。

まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の延長など、いまだコロナ禍の収束が見えない状況ではありますが、松戸市国際交流協会では密にならない参加方法の設定など、十分な感染リスク対策を講じながら、各種の事業を実施してまいりたいと考えております。

状況により、事業の変更や中止となることもあるかと存じますが、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

理事長あいさつ

コロナ禍の早期収束を願いつつ それまでは工夫を凝らして活動を

理事長 伊藤 誠

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、松戸市民の日常生活に大きな影響が出た一年でした。そして同様に松戸市国際交流協会の活動も大きく縮小を余儀なくされました。その影響は現在でも続いており、今年行われる予定だったオーストラリアのホワイトホース市との姉妹都市締結５０周年に伴う先方代表団の訪日は延期されることとなりました。

しかし、松戸市国際交流協会では、こうした中でも万全の感染対策を行った上で場合によっては人数を制限したり、また対面ではなくオンラインで行うことにより、可能な限りの事業が実施できるように努力しています。日本語教室や各種講座もオンラインで実施する準備をし、厳しい状況下でも工夫を凝らしながらさまざまな活動を続けていきたいと考えています。

今回の新型コロナウイルス禍は、国際交流のあり方や考え方、またその実施方法にも大きな影響を与えたと思います。オンラインやリモートによる人と人との交流が技術の進歩に助けられたとは言え、これほど一般化するとは想像することができませんでした。コロナ禍で実際に会うことができないためやむを得ず始めたことですが、多くの人がほとんど抵抗なく行うようになり、今ではこの方法がすっかり定着しつつあります。

しかし、やはり国際交流のあるべき姿は、人が相手先を訪れたりして直接会って交流することだと思っています。スクリーンを通じての交流は、視界も限られ、見たいものが見られない、知りたいことが知れないなどというもどかしさをどうしても感じてしまいます。

このコロナ禍が一刻も早く収束して人の移動に制限がなくなり、さまざまな交流が可能となることを願いつつ、それまでは何とか知恵を絞って松戸市国際交流協会の役割を果たしていきたいと思っています。

会員の状況

R３.4.1現在

種　別	日本人	外国人／国・地域	法人	団体	学生	家族	計
会員数	275人	814人／55国・地域	29人	33人	33人	17人	1,201人

ホストファミリー登録者	通訳・翻訳登録者／登録言語	日本語ボランティア登録者
10人	47人／11言語	71人

(公財)松戸市国際交流協会(MIEA)では、随時、会員を募集しています。

☆いろいろな国の文化を知りたい。
☆いろいろな国の人と交流したい。
☆いろいろな国の人にかかわるボランティアをしてみたい。

このような方は、ぜひMIEAにご入会ください。松戸で国際交流を楽しみましょう！

ツイッターでMIEA最新情報発信中
フォローしてね！

賛助会費(年度ごと)

- 日本人会員 …… 3,000円
- 外国人会員 …… 1,000円
- 学生会員 …… 1,000円
- 家族会員 …… 5,000円
- 団体会員 …… 5,000円
- 法人会員 …… 10,000円

お問い合わせ
(公財)松戸市国際交流協会

令和３年度収支予算書（増減計算方式 要約）

令和３年４月１日から令和４年３月31日までの収支予算をお知らせします。事業内容の充実に努め、市民の皆様中心の国際交流活動を推進してまいります。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

令和３年度公益財団法人松戸市国際交流協会収支予算書（増減計算方式 要約）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位:円）

科　　目	３年度予算額	２年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,212,000	2,212,000	0
②受取会費	1,472,000	1,680,000	△ 208,000
③事業収益	4,001,000	3,922,000	79,000
④受取補助金等	56,085,000	53,988,000	2,097,000
⑤寄付金等収入	5,000	5,000	0
⑥雑収益	11,000	11,000	0
⑦特定資産取崩収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
経常収益計	63,786,000	63,818,000	△ 32,000
(2) 経常費用			
①事業費	43,551,000	42,620,000	931,000
②管理費	20,235,000	21,198,000	△ 963,000
経常費用計	63,786,000	63,818,000	△ 32,000
当期経常増減額	0	0	0
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
一般正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	302,000,000	302,000,000	0

協会の役員と事務局のスタッフを紹介します

名誉顧問	飯沼　誠
理事長	伊藤　誠
副理事長	木川　総一郎
常務理事	千石　秀幸
理事	羽毛田　信吾
	大和田　順一
	恩田　久栄
	小川　哲也

評議員	山田　常基
	須田　昌彦
	山口　桂明
	日向野　富士子
	伊藤　芳績
	池内　正幸
	八島　未和
	風戸　正
	中村　健二

監事	富田　将之
	伊藤　敏章

事務局	
事務局長	渡邊　武
次長	吉村　雅子
主査	加藤　絹子
国際交流員	トン　アイリス
事務局員	片山　麻里
	郭　秋霞
	中川　恵津子
	小林　克巳
	田中　由紀子

MIEA事業紹介

OUR EVENTS

2021.4.1～2022.3.31

2021年度の主な事業について紹介します。詳細は、後日「MIEAホームページ」「みぃあすてーしょん」等にてお知らせいたします。

第26回松戸市国際文化祭

Matsudo International Cultural Festival

日時:10/24 (日)
10:00～15:00
会場:松戸市民会館

第32回国際交流パーティー

International Exchange Party

日時:12/12(日)
13:00～15:30
会場:森のホール21

語学講座

Language Courses

★初級ドイツ語(全10回) Beginner's German Course
日時:5/22～7/24の土曜日 14:00～15:30
講師:BILIK EVA氏

★外国語サロン※1回から参加可能
日時:7/11、8/15、9/12、10/17、11/21、12/19(日曜日開催)
中国語 10:00～11:30
Chinese Conversation Salon
英会話 13:00～14:30
English Conversation Salon

★イングリッシュ×ストリートダンス(全3回)
English×Street Dance for Kids
日時:8/4(水)～8/6(金) 15:00～16:30
講師:MIKI ISHIZAKA氏

★初級韓国語(全12回) Beginner's Korean Course
日時:9/4～11/27の土曜日※10/30休み
13:00～14:30※11/27のみ午前中
講師:崔　孝英氏

★中級英会話(全10回) Intermediate English Conversation Course
・12月予定

MIEA世界めぐり

MIEA World Tours

★K-popダンスを体験しよう！
Experience of K-pop Dance
日時:6/12(土)10:00～or13:00～
講師:Ayaka氏

★世界の料理体験
Cooking Class
～フランス語で楽しむ
フランスの家庭料理教室～
French Home Cooking in French
日時:6/13(日)、8/29(日)、
11/23(火・祝) 10:00～14:00
講師:Laetitia Clerget氏

～インドネシアのお祝い料理教室～
Indonesian Celebration Food Cooking Class
日時:9/19(日)10:00～14:00
講師:LISTU SANTI氏

★オーストラリア体験
Introduction of Australian Culture in English
①多文化紹介
日時:8/7(土)13:00～14:30
講師:Kain Foran氏 Iris Tong
②食文化紹介(ワイン)
日時:9/23(木・祝)時間未定

★日本の文化体験(陶芸)
Experience of Japanese Culture (ceramics)
日時:10/5(火)13:30～

★日本の文化紹介
Introduction of Japanese Culture
野田さんぽ
～醤油の香り漂う町を訪ねて～
日時:10/30(土)9:00～12:00

★英語によるチェコの文化紹介
Introduction of Czech Republic in English ～ The Beauty of CZECH ～
日時:11/27(土)13:00～14:30
講師:小林 ブランカ氏

日本語学習支援

Japanese Courses

★初級日本語教室(3学期制) ※週1回1クラス受講可
1学期【5/9～7/16】
2学期【9/7～12/9】
3学期【2022/1/7～3/18】
<昼の部>日・火・水・木・金
<夜の部>火
・オンライン授業(3学期制)
初級木曜クラス　5/13～3/17
会話火曜クラス　5/11～3/15

★仕事に役立つ中級日本語教室
対面授業(10回) オンライン授業(26回)
日時:5/25～10/14の火・木曜日
(7/22、8/10～19、9/23は休み)
19:00～21:00

★介護のやさしい日本語教室(10回)
日時:7/20～8/24の火・木曜日※8/12休み
10:10～12:10

★日本語教育講演会　年2回
実施予定時期:1回目 10月頃
2回目 12月頃

スピーチコンテスト

Speech Contest

★第40回松戸市高校生英語スピーチコンテスト
English Speech Contest for High School Students
日時:8/21(土) 13:30～17:00

★第30回外国人日本語スピーチコンテスト
Japanese Speech Contest for Foreign Residents
日時:2022/2/19(土)
13:00～17:00

まつど国際文化大使

Matsudo International Cultural Ambassadors

国際交流イベントを開催する団体等に大使を派遣します。(第23期17カ国・地域/30名)

★第24期まつど国際文化大使委嘱式
The 24th Matsudo International Cultural Ambassadors Commission Ceremony
日時:9/5(日)
14:00～16:00

青少年姉妹都市等派遣

Youth Dispatch

姉妹都市等へ中高校生を派遣し、国際性豊かな青少年を育成します。
派遣期間:2022年3月中旬の8～9日間
派遣先:オーストラリア
ホワイトホース市
アメリカ
サンタクラリタ市

その他

Others

★ワンデイ・トリップ
One-Day Trip
・詳細未定
★ホームスティ、ホームビジット
★姉妹都市交流
★海外からの受け入れ
★国際交流団体支援

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、掲載しているイベント等変更・中止となる場合があります。ご了承ください。

姉妹都市交流50周年記念の歩み

松戸市・ホワイトホース市姉妹都市交流50周年に寄せて

（公財）松戸市国際交流協会　名誉顧問　飯沼　誠

35周年記念　メルボルンにて

松戸市・ホワイトホース市姉妹都市50周年、おめでとうございます。今年はコロナ禍のためにホワイトホース市民をお迎えすることができませんでした。

しかし、去る5月12日には、両市長がオンラインで両市の友好親善の再確認をしたところです。2022年5月にはホワイトホース市民訪問団をぜひとも松戸市にお迎えしましょう。そして懐かしい出会いと、さらに友情の絆を深めましょう。

Q　これまでの姉妹都市交流の中で、一番印象に残っていることは何でしょうか。

1998年　姉妹都市友好の集い

両市の50年にわたる交流には、多くの先輩のご苦労と感動の積み重ねがありました。この間、最も印象に残り感動したことは、公式訪問ごとに感じた、両市民の変わらぬ情熱と相互理解、誠実な心に宿る信頼感です。今やこのあふれる思いは自然に相互尊敬と感謝の気持ちに昇華しています。

Q　姉妹都市交流を続けるために苦労されたことは何でしょうか。

40周年記念　歓迎レセプション

（ボックスヒル市とナナワディング市が合併し）新しくホワイトホース市が誕生した際、同時に姉妹都市交流をさらに継続させていくという課題ができたことです。幸い両市の相互理解と信頼は深い絆で結ばれており、それは新しく生まれ変わったホワイトホース市にも引き継がれ、5年ごとの公式訪問団による交流が定着して参りました。

感動あふれる新しい姉妹都市交流の始まりです。両市長をはじめ、CEO、議長、市民代表による5年ごとの公式訪問は、そのたびに両市民の友好親善交流を再確認して、新しい出発を誓いあうものです。この訪問のたびに受ける相互理解と感動は、心に永遠に刻まれる宝物です。これらの感動は、今なお青少年の派遣交換制度に生かされ、一般市民にも受け継がれています。

45周年記念式典

Q　今後の姉妹都市交流のあり方について、教えていただけますでしょうか。

幸い、私はMIEA創立時から、副理事長・理事長として約30年間にわたり、両市交流の歴史を自ら体験して参りました。これからも、両市の姉妹都市交流が、有意義に長く続きますよう、両市民の変わらぬ情熱と誠実な努力を期待しています。今後、両市民の交換訪問ごとに、多文化理解を深め、いつも新鮮な気持ちで、新しい出会いを大切にして友好を深め続けましょう。

45周年記念

姉妹都市50年

MIEA写真館

Sister city Whitehorse & Matsudo 50th Anniversary 1971-2021

1991 『和&輪』創刊号(20周年)

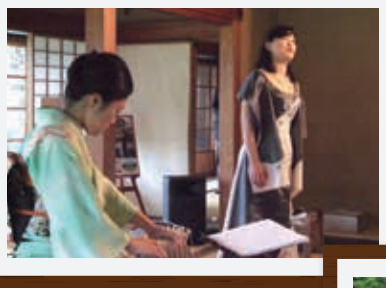
1993 姉妹都市提携記念事業
英語スピーチコンテスト

1996 25周年記念訪問
(ホワイトホース市)

2011 松戸市国際文化祭
「和豪」オーストラリア×日本の
楽器のユニット

2011 松戸市国際文化祭(40周年)
花でかたどった
ホワイトホース市章

2001 30周年記念歓迎レセプション
(森のホール21)



2011 40周年記念
コンサート(戸定邸)

2011 松戸市国際文化祭
ホワイトホース市と松戸市
の児童による絵画展

2012 40周年記念訪問団(旧齋藤邸)

2020 つるし雛贈呈式
(45周年記念訪問団参加者有志が
50周年の記念品として作製)

会員の声 Member's Voice

会員の方々に、姉妹都市交流やオーストラリアに関わるお話をお寄せいただきました。

MIEAを通して私が学んだこと

熊谷　アモンラット

左がご本人

私はタイ王国出身の熊谷アモンラットと申します。2008年に来日し、翌年の1月に子供が生まれ、7月から松戸市に住んでいます。日本語がわからないままだと生活が難しいと考え、MIEAの日本語教室に参加したのが、私とMIEAとの出会いです。

ボランティアの日本語の先生や、教室に参加されている外国人の方々から、日本語を教えていただいたり、お友達を紹介していただいたりして、徐々に日本語が話せるようになりました。MIEAの活動や行事に参加することで日本の文化に直接触れながら、タイのことも紹介する機会をいただき、タイ料理教室では多くの方にタイ料理を楽しんでいただきました。2016年には、提携姉妹都市であるオーストラリアのホワイトホース市への旅行に、息子と参加させていただき、国際交流の素晴しさに感動しました。3年前には、本格的なタイ料理の味を日本で味わっていただくために、MIEAで学んだ経験を生かして、北松戸でタイ料理のレストランをオープンしました。

ホワイトホース市にて

松戸市は私たち外国人にとっても、多くの出会いとイベントと文化と自然に包まれた、暮らしやすい町です。これからの松戸市の国際交流の輪がもっと広がる様に祈るとともに、私自身も積極的にイベントや行事に参加していきたいと思います。

Koalas in Matsudo (an Aussie's thoughts on living in Matsudo City)

松戸のコアラ（松戸市のとあるオーストラリア人の考え）

Kain Foran

Before me stood a tall white trunk, the light, fresh, familiar scent filling the air. A ghostly gum, a eucalyptus tree. The sight of it almost moved me to tears, because I was more than eight thousand kilometers from home and would never have imagined to see a eucalyptus tree here of all places.

I asked my friend, a local who had grown up in the area. "There's lots of eucalyptus trees in Matsudo." He told me. "Because we have a sister city in Australia. We even have koalas on our manhole covers!"

But what city? Google supplied the rest of the information: Whitehorse. Memories instantly came flooding back, of my teenaged years as a high school student, all of us piling off the train at Box Hill station in the city of Whitehorse, buying bubble tea (our name for tapioca) and studying - much like I had seen local students doing around Matsudo.

Sometimes, living abroad can be lonely. You yearn for the things from back home, for familiarity and for nostalgia. But other times, you really see how no matter the country, there are similarities as well. Uniformed high schoolers drinking bubble tea is just one of them. The kindness and friendliness of local people is another. There have been many times when I have been lost and confused in Japan - what train do I catch, where can I by baking soda, what is an "inkan" and where can I get one - but every time, someone has helped me with a smile.

I love living in Japan, and especially in Matsudo city. Despite struggling at times, I'm glad that luck led me to here. Not only is Matsudo city a progressive place (as seen by having a same sex partnership system) but where else in Japan can you see koalas outside the zoo?

Later, I spotted a koala manhole cover that my friend had told me about. I snapped a picture of it, and sent it to my mum back home, saying "Look! We have koalas here too!"

目の前に高くて白い幹の木が立ち、軽くて新鮮で、懐かしい匂いが立ち込めている。なめらかで斑点のある木、ユーカリの木だ。その光景を見て涙が出そうになった。なぜなら、家から8000キロ離れたこの地でユーカリの木をいたるところで見るなんて想像もしなかったから。

私は松戸で育った友人に尋ねた。「松戸にはユーカリの木がたくさんあるね。」彼は言った。「オーストラリアに姉妹都市があるからだよ。マンホールの蓋にもコアラがいるんだよ！」

でも、それって何市？グーグルが残りの情報を提供してくれた。"ホワイトホース"。10代の高校生の頃の記憶が一気によみがえってきた。ボックスヒル駅でみんなで降り、バブルティー（タピオカミルクティー）を買い、勉強した。松戸周辺の地元の学生と同じように。

外国での生活は孤独になりがちだ。故郷の物、親しみやすさ、懐かしさを切望することがある。しかし、国に関係なく、共通点を見つけることもある。制服を着た学生がバブルティーを飲んでいる姿もその一つだ。地元の人の優しさや親しみやすさも然り。日本で何度も迷ったり混乱したりしたこと、どの電車に乗れば良いか、どこで重曹を買えば良いか、「インカン（印鑑）」って何、どこで買えるのか、などあったが、毎回誰かが笑顔で助けてくれる。

日本、特に松戸市に住むのが大好きだ。大変な時期もあったが、運良くここに来られた。松戸市は進歩的な場所である（同性のパートナーシップを導入していることからもわかる）だけではない、日本の他のどこで動物園の外でコアラを見られるだろうか？

後日、友達が教えてくれたコアラのマンホールの蓋を見つけた。写真に撮って実家の母に送った。「ねえ見て！ここにもコアラがいるんだよ！」（翻訳）